



環境マネジメント (ISO14001) の取り組み

2004年1月に本社事務所がISO14001を認証取得し、その後関東事務所・山静事務所・北陸事務所がそれぞれ本部として認証取得しました。2008年2月、本社が各本部を統合、同年8月にはユーストアを合併し組織変更・拡大を図りました。

また審査機関は、2004年から2009年までオリオン・レジストラー・ジャパンでしたが、2010年からは株式会社日本環境認証機構 (JACO) に依頼しています。



サーベイランス審査



サーベイランス部門審査



サーベイランス現場内審査



環境目的目標にエコ・ファーストの約束を設定

環境マネジメントの目的目標については、各部門ごとに業務の環境影響調査を行い、環境側面を抽出し、影響の重大なものを改善するよう環境実施計画を策定しています。

さらに、エコ・ファースト企業としての高い環境目標を掲げている「エコ・ファーストの約束」を果たすために、環境実施計画に以下のことを組み込みました。

- 食品リサイクルの推進
- 容器包装の削減とリサイクル推進
- 環境教育の実施
- 環境配慮商品の開発および販売拡大



ゴミ運動いなざわ

継続的な環境目的目標

- 省エネ活動……空調温度規制・照明の個別管理・クールビズ、ウォームビズ
- 省資源……コピー用紙使用量削減
- 廃棄物の削減とリサイクル推進
- 本社周辺の清掃活動

ISO14001 推進のための社員教育

環境方針・環境目的目標や環境マネジメントシステムの理解を深め環境活動を実践していくために、適用範囲の全従業員と関係する人々に教育を行いました。環境目的目標は、部門ごとに業務の環境影響調査を行い、環境側面を抽出して設定しました。「環境実施計画」策定についての教育を実施しました。

また、環境マネジメントシステムの内部監査の監査員教育を行い、認定取得者は258名になりました。



内部監査監査員合宿



従業員集合教育

緊急事態への対応

環境影響で重大なものに災害があります。愛知県稲沢市の本社では2011年の東日本大震災レベルの災害が東海地方に起きることを想定し、防災訓練を計画し、実施しました。



初期消火訓練



防災訓練 (グループ会社合同)

ISO内部監査

ユニーでは「企業価値向上」の観点から「エコ・ファーストの約束」が制定され、ISO14001推進の重要性と活動範囲はさらに拡大しています。「環境マネジメントシステム」のISO14001要求事項への適合を確認するために、登録企業内に内部監査が規定されています。

内部監査にあたってはこの新たな要件を鑑み、厳正な業務遂行と整備・運用への積極的な提言を心がけ、取り組みへの貢献を果たしたいと考えます。



監査室長
水谷 功

